

令和6年2月9日
推進協議会資料

本町田ひなた小学校の校歌制作について

玉川大学 教授 朝日公哉（作曲）
准教授 山田深雪（作詞）

1 意見を集める段階において

新しい校歌に対する意見を以下のように集めた。

- 小学校1年生に、本町田ひなた小学校のイメージ図を描いてもらい、そこから言葉を抽出した。
本町田小学校…令和5年10月18日（水）実施
本町田東小学校…令和5年11月29日（水）実施
町田第三小学校…令和5年11月1日（水）実施
- 町田市教育委員会新たな学校づくり推進課よりアンケート調査結果をいただいた。
アンケートにて挙げた言葉を全てデータ化した。

2 作詞の構想について（担当：山田深雪）

できるだけ主観を省くため、大量のご希望等を公平に吟味するように努めた。

(1) 現校歌の歌詞の特徴分析

下記の①～③は、三校の校歌の中から特徴的な言葉を山田が検討した結果である。なお、各学校名等は省いている。

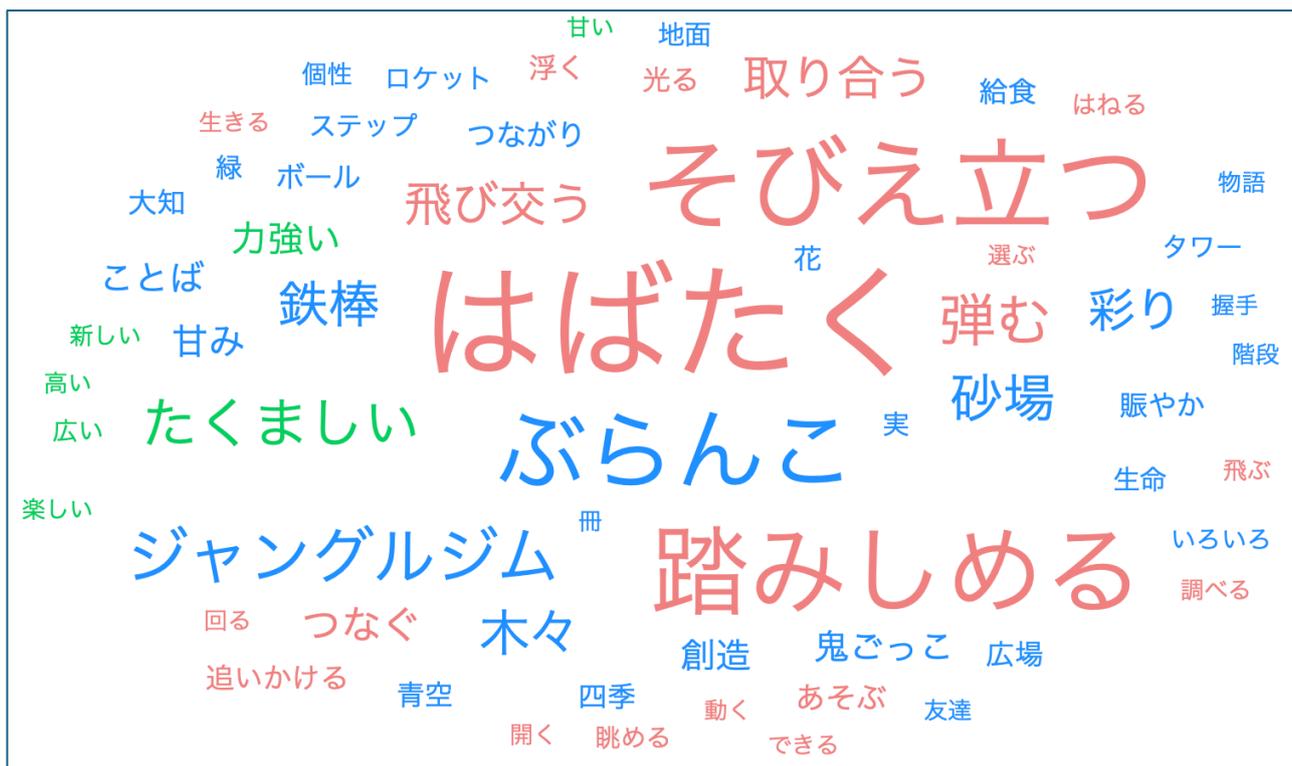
- ① 三校合わせて、最も使用されていた言葉は、「母校・我ら・空・風・学ぶ・楽しい」であった。
- ② 現校歌の中で、オリジナリティーが高く、子どものイメージに近いものがある。このような言葉をそのままでも生かしたいと考えている。
【本町田】未来の扉、永く尊い命、希望の森 〈イメージカラー：緑色・空色〉
【本町田東】黒くうるおう、あしたの太陽、薬師の森
〈イメージカラー：大地の色、黄色、緑色〉
【町田第三】霜雪→花咲く梅、力がおどる 〈イメージカラー：赤色・桜色〉
- ③ 山河の名前や地名も大事にしたいと考えている。

(2) 1年生が新しい学校へもつイメージの分析…ユーザーローカルAI テキストマイニングによる分析（<https://textmining.userlocal.jp/>）

資料1は、1年生が描いた絵や描いているときの言葉をワードクラウドにしたものである。ワードクラウドとは、スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示したものである。

単語の色は品詞の種類で異なっており、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表している。スコアとは、与えられた文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを数値化したものである。

- ① 校庭の遊具などを省いた名詞では「木々・彩り」という言葉が特徴的である。
- ② 動詞では「はばたく・そびえ立つ・ふみしめる・弾む」という言葉が特徴的である。
- ③ 形容詞では、「たくましい・力強い」という言葉が特徴的である。



資料1 1年生が描いた絵や描いているときの言葉を基にしたワードクラウド

(3) アンケート調査結果の分析…ユーザーローカル AI テキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

資料2は、アンケート調査にて挙がってきた言葉をワードクラウドにしたものである。

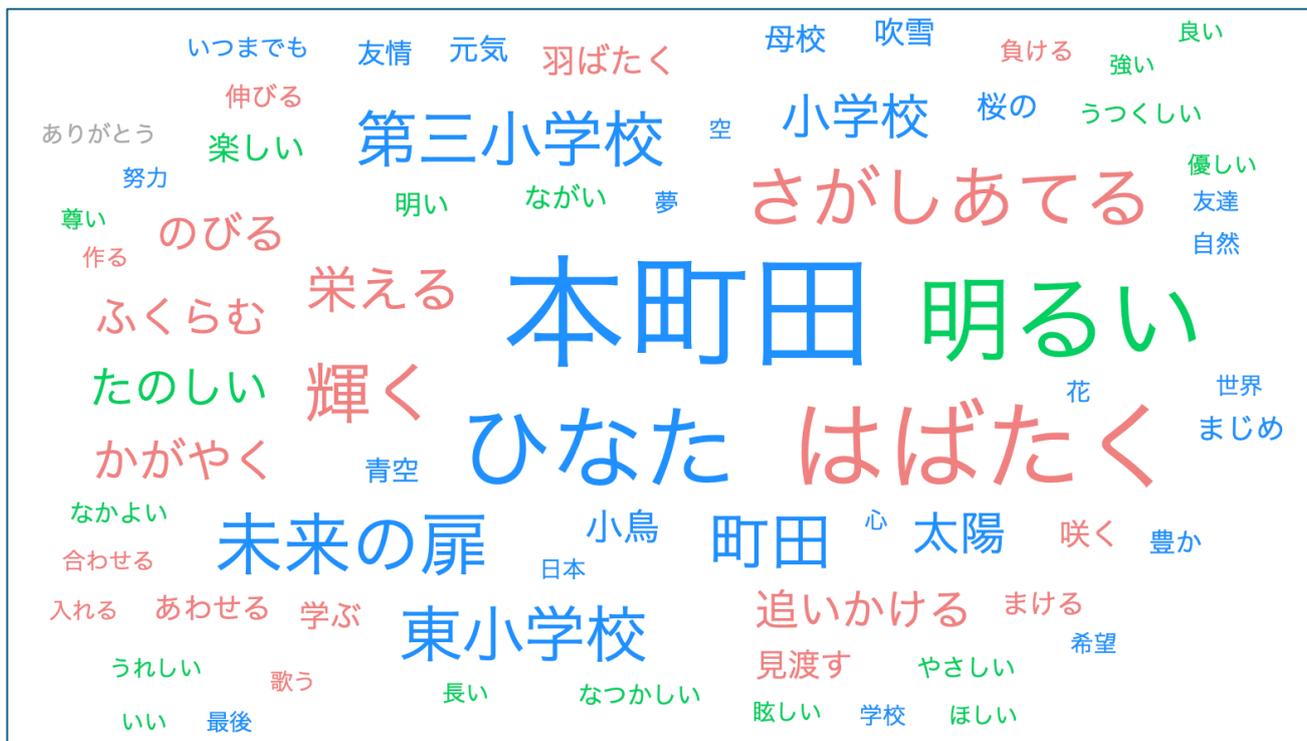
- ① 町田・本町田・小学校・第三小学校等を省いた名詞では、圧倒的に「ひなた」、次に「太陽・未来の扉・愛と勇気・そよかぜ・穂波」が特徴的である。

これらの他に頻出していた言葉には、「元気・太陽・夢・心・友達・世界・花・小鳥・桜・母校・まじめ・いつまでも・自然・空」がある。

- ② 動詞では「輝く(かがやく)・はばたく・栄える・さがしあてる・晴れわたる・息づく」が特徴的である。これらの他に頻出していた言葉には、「追いかける・負ける・学ぶ・つくる・伸びる(のびる)・歌う」がある。
- ③ 形容詞では、圧倒的に「明るい・楽しい(たのしい)」が特徴的である。
- ④ 感動詞では、「ありがとう」が非常に特徴的であった。名詞「太陽」と同じ頻度で出現

しており、リクエストが多かった言葉である。校歌ではあまり見られない言葉であるが、入れたいと考えている。

- ⑤ 詞の中の人物の視線として「はばたく（上・未来）-踏みしめる（下・現在や歴史）」という、土台の堅実さに基づく、広がりのあるイメージを得られた。



資料2 アンケート調査の言葉を基にしたワードクラウド

(4) これからの歌詞の方向性について

以上、これらの新しい校歌へのイメージや希望を総合して、1番～3番（2番）のストーリーを構想し、新しい本町田ひなた小学校の校歌を作詞していく方向である。

例えば以下のようなものである。下記はあくまでも例で、校名は入れる前提で省いて示す。

一、ふるさとの大地に立ち、伝統や歴史、自然を見つめ大志を抱く子ども

【ふるさとと自分】

（森・風・心／晴れわたる・ふみしめる・息づく・そびえ立つ／尊い・力強い）

二、ひなたの丘に集い、仲間と共に切磋琢磨しながら学び合う子ども 【自分と他者】

（あしたの太陽・霜雪・勇気／学ぶ・さがしあてる・伸びる／明るい・楽しい・たくましい）

三、ひなたの丘からそれぞれの夢に向かって羽ばたき、未来社会を創造する子ども

【自分と社会】

（花・未来の扉・世界・母校／つくる・はばたく・歌う／美しい・眩しい／ありがとう）

(5) 形式部分の方向性

歌詞は3番(3コーラス)か、2番(2コーラス)+エンディング(アウトロ)で考えている。町田第三小学校には、エンディング(アウトロ)が3番の後に付いている。

3 作曲の構想について(担当:朝日公哉)

(1) 音域

低学年から十分に発声可能な声域に留意し、なるべく伸びやかに歌える旋律にする。また順次進行(隣り合った音への進行)を多用し覚えやすく、歌いやすい児童に寄り添ったメロディを作る。

(2) 調性

児童が伴奏を担当することも想定し、調号が少ない以下の調から作曲する。

(ハ長調、ト長調、ヘ長調、ニ長調、変ロ長調、イ長調、変ホ長調)

(3) 旋律

所謂ヨナ抜き調の唱歌風では無く、昨今の合唱曲をベースにイメージする。ただし、流行に迎合せず永続的に歌い継ぐ校歌となることに留意する。また、旋律の音高によっては同声二部の部分合唱とし、変声期の児童にも対応する。

以上